



～「1・7・5人の笑顔輝く、楽しい学校を目指して」～

新風は西始良から

元気いっぱい 花いっぱい 笑顔いっぱい 歌声いっぱい



あいさついっぱいの学校

校長 二宮 伊佐武

子供たちの前で立ち止まり、元気な声で「おはようございます。」その後のお辞儀。毎朝の正門近くでの登校指導で私がいつも気を付けていることです。



4月の始業式当日の朝以来「おはようございます」と“お辞儀をする”ことを続けたら、子供たちはもちろんですが、西始良小の前を通る保護者や地域の皆様も、あいさつとお辞儀を返してくださる人が増えてきました。

心（気持ち）が少しずつ通い合ってきているようで、うれしい気持ちでいっぱいになります。学校前の道路は、坂道でスピードが出やすい場所ですが、安全運転で行かなければという気持ちが、自然に伝わってきます。たいへんありがたいことです。

さて、子供たちの朝のあいさつの様子を見てみると、①こちらからあいさつしないとあいさつできない子、②歩きながらペコッと頭を下げながら通り過ぎる子、③恥ずかしそうにやっと聞こえる声であいさつする子、④歩いていてもしっかり立ち止まり「おはようございます」と大きな声で言った後、頭をしっかりと下げる子と様々です。

我が子は、①②③④のどんなあいさつをしているかご存じですか。

あいさつは、相手に伝わって初めて「気持ちのよいあいさつ」となります。自分はいいあいさつをしたつもりでも、相手に聞こえなかったり、気持ちが伝わらなかったりしたら、せつかくのあいさつが意味のないものとなります。

習慣は、一朝一夕に身に付くものでなく、長年にわたる積み重ねで身に付くものです。毎朝の家族で交わす「おはよう」には始まり「いただきます」「行ってきます」「いってらっしゃい」「おはようございます」「さようなら」「ただいま」「お帰り」「お休みなさい」等々機会を捉えて指導したいものです。そして、子供ばかりに期待するのではなく、我々大人も元気よくあいさつを交わすことをしなくてはと、思います。

さあ、みなさん、『元気よく気持ちのよいあいさつが響き合う西始良小』づくりにいっしょに取り組みましょう！



本校の“めざす子供の姿”の一つに、「元気よくあいさつができる子供」（SSTあいさつ運動）があります。

1つ目のSは「先に（自分から）」、2つ目のSは「スマイルで（気持ちを込めて）」、Tは「立ち止まって」を意味しています。

※ 学校だけでなく、家庭や地域であいさつができる子を育てましょう。



声かけをお願いします。御家庭でも、

していただきます。目です。安全を確認

目です。安全を確認する。目です。安全を確認

自分の命は自分

子供たちには、

多く見受けられ

歩道も設置され

歩道も設置され

一方、裏道は

歩道がなく見通

しも悪い箇所が

が整備され横断

が整備され横断

な通りには歩道

点が多く、大き

校区内は、交差

